



334複合地区スローガン
温故知新—創造と挑戦とスピー
ド、さらなる価値ある奉仕を

334-B地区スローガン
「ありがとう」感謝の心で
We Serve

岐阜西ライオンズクラブスローガン
一致団結ライオンズ魂、日本から世界へ発信

2014年 2月 第二例会 768回
2月25日(火) 於 ホテルグランヴェール岐山 12:15～

例会プログラム

第768回 教養例会

- | | |
|---------------------|------------------|
| | 司 会L.山田(敏) |
| 1 開会ゴング | 会 長L.小野木 |
| 2 国歌並びにライオンズヒムの歌斉唱 | |
| 3 ゲスト及びビジターの紹介 | 接待委員 L.河合 |
| 4 慶祝行事(結婚祝) | L.小野木 |
| 5 会長挨拶 | L.小野木 |
| 6 講演「健康で心豊かな子育てに挑戦」 | 日本児童育成園 園長長縄 良樹様 |
| 7 指名会 | 指名委員長L.伊藤(隆) |

< 食 事 >

- | | |
|---------------|-------------|
| 8 幹事報告 | L.大橋 |
| 9 各委員会報告 | |
| 10 テールツイスター登場 | L.長谷部 |
| 11 出席報告 | 出席大会委員L.日比野 |
| 12 会計報告 | L.広瀬(真) |
| 13 閉会ゴング | L.小野木 |

会長・幹事報告

第768回 幹事報告

1. 下半期ゾーン活動協力金1,000円×49名=49,000円を拠出致しました。
2. 3月5日(水)大垣フォーラムホテルに於いて、新会員セミナーが開催されます。新会員と引率として幹事 L.大橋が出席致します。
3. 3月10日(月)第3回ガバナー諮問委員会がすぎ山に於いて開催されます。会長L.小野木、幹事L.大橋、事務局が出席致します。
4. 京都嵐山ライオンズクラブの事務局が移転されます。
移転日:平成26年 2月 26日
新住所:京都市中京区蛸薬師通り高倉東入れ
雁金町368-1 やませビル4階
TEL: 075-254-2315
FAX: 075-211-2620

会計報告

ドネーション	7人	金額	45,000円
ファイン	6人	金額	24,000円
Boxファイン		金額	円
合計	13人	金額	69,000円

出席報告

会員数	49人
出席数	45人
出席率	91.8%

次回例会案内

日 時: 3月11日(火)12:15から
場 所: ホテルグランヴェール岐山
例会名: 結成記念例会

慶祝行事

結婚祝 10日 L.青木誠二 16日L.後藤清七
18日 L.豊田 武

会長挨拶



明

皆さんこんにちは。昨日ソチで行われていたオリンピックが閉会いたしました。夜中にTV観戦をして、寝不足になられた方も多いことでしょう。最初の頃はメダルがなかなか取れなくて、スピードスケートの長島や加藤、また女子ジャンプの高梨沙羅選手がメダルを逃すシーンが続きました。最後のほうでメダルラッシュになり、8個のメダルを獲得しましたので日本全体が盛り上がりました。この後パラリンピックが行われます。身体に不自由をお持ちの人たちのオリンピックです。ライオンズクラブの基本スタンスはハンディキャップのある方への支援です。パラリンピックを観戦しながら支援の意味を考えてみると何か違ったものが見えてくるのかもしれない。前回のオリンピックはバンクーバーで5個のメダル、そのまへのトリノでは荒川静香の金メダル1個です。当時私は幹事をいたしておりましたが会長は現会計のL.広瀬真人でした。その年京都嵐山ライオンズとご縁が出来まして、8年間の交流が続いています。先週、大橋幹事と2名で京都嵐

山ライオンズクラブの幹事会を15名と我々の2名の20名ぐらいたったと思います。祇園近くの料亭でした。「冬の鍋例会」というタイトルがついておりまして、年に何回かはこのような楽しそうな例会が開催されるそうです。例会の進行は日の丸国旗やライオンズ旗も無く、君が代もライオンズの歌も歌わず、でした。驚いたのは乾杯の発声で、ウィーサーブではなく、普通の乾杯でした。したがって何処にでもあるような仲間同士の宴会と言う様子で、かえって新鮮に感じられました。京都の定番で芸子さんと舞妓さんもおまして、大変参考になるとともに楽しい時間を過ごさせていただきました。

特別記事

教養例会

社会福祉法人 児童養護施設 日本児童育成園 園長 長縄 良樹 様

「健康で心豊かな子育てに挑戦」

岐阜西ライオンズクラブの皆様には、フットサル大会を始め、鶉飼観覧への招待と、子ども達が大変にお世話になっております。本日は育成園の子ども達の日々の活動や、私たちが取り組んでおります子ども達の心のケアについてご紹介していきたいと思っております。日本児童育成園は、現在83名、明治28年に設立され、伊藤博文侯が命名したという歴史があります。来年創立120周年を迎えます。隣には乳児院もあり18名の乳児がいます。大好きな両親と共に住めなくなり、親元を離れた子ども達は、誰を信じ、誰に頼ればいいのか。自分を大事にし、守ってくれる人は誰なのか。この場に居てもいいのか。その確認が「試し行動」と呼ばれるものです。人は皆、安心できる場を求めています。事例として、施設から家出した少年が、みんなに自分の心配をしてほしかったから、と書いていたことがあります。人は皆、同じように安心できる場所が必要です。自分の存在意義がほしいです。それを根底から無くしてしまった子ども達ですので、誰より安心して支えてくれる場所を求めているということです。長いと2~3歳から18歳までいる子どもがいます。今後、友達も遊びに来れる家、という形にして施設というよりは家という位置づけを目指していきます。真の心の支え(友)となるために、共に喜び、共に泣く。支えあった仲間、家族として、いつでも帰ってこれる心の実家を子ども達に用意してあげたい。私なんか、僕なんか、という考えの子ども達にそのことを訴えていきたい。



今、児童虐待被害の子ども達が63%おります。心に深い傷をもった子達に、一緒に励ましながら、一緒に笑いながら、愛されているという体験を通して、人を思いやる事が出来るようになってほしい。愛されたことのない者は、人を愛することを知らないですし、人から大事にされた経験が他人を思いやる。また、人を信じる事ができます。信じてもいい大人がいるということを伝えたい。

私自身45年この仕事をさせていただいておりますが、仕事だからという関係で終わりはありません。大人不信の子ども達に信頼関係、絆というものを再生して、施設で育てて良かったと言われる様に挑戦を続けたい。

皆様へは、オレンジリボン運動という児童虐待防止運動への御支援をお願いします。また県の取り組みの一つとして養護施設の子供達に実習の場を提供、ボランティアとして活動する場を提供していただける企業サポーターを呼びかけております。また、寄付金付きの自動販売機の設置もお願いしております。今後も日本児童育成園の子ども達への温かい御支援、御協力をよろしく願います。

10日 L.青木誠二 16日L.後藤清七
18日 L.豊田 武

おめでとうございます！



京都嵐山ライオンズクラブ例会訪問

幹事 L. 大橋 良

広

2月13日(木)に姉妹提携クラブである京都嵐山LCの『冬の鍋例会』に参加致しました。

京都嵐山LCの会員さん以外に友好クラブである京都ときわLCの会長、幹事、前会長も参加され、大変和やかな雰囲気の中、美味しいお酒と温かい鍋を頂きました。会場では、舞妓さん芸妓さんが華を添えてくれました。



京都嵐山ライオンズクラブ会長 L. 増田 隆



美味しい料理とお酒で懇親も深まりました